

地域医療 I

M-02-05-L

オーガナイザー

地域医療支援センター

講師

蒸野 寿紀

教員名

紀北分院

教授

廣西 昌也

地域医療支援センター

講師

蒸野 寿紀

地域医療支援センター

助教

中村 有貴

地域医療支援センター

助教

川端 大輝

I 授業の目的

地域医療の基本的な仕組みと役割を理解し、地域社会の健康を支える医師としての基礎的な知識と態度を身につけることを目的とする。また、地域特有の健康課題や医療資源の限られた状況での医療提供について学び、多職種連携やプライマリ・ケアの重要性を理解する。

II 到達目標

1. 地域医療がどのような仕組みで成り立ち、総合診療がどのような役割を果たしているかを説明できる。
2. プライマリ・ケアの基本概念やその重要性を理解し、地域での具体的な実践例を説明できる。
3. 医療資源が限られた地域やへき地での医療提供体制について理解し、その課題を説明できる。
4. 地域の医療施設の種類と役割を説明できる。
5. 地域医療における医師を含む多職種の役割と連携の重要性を説明できる。
6. 地域特有の健康課題（高齢化、多疾患併存など）を理解し、それらへの基本的な対応策を説明できる。
7. 地域医療における医師の役割を理解し、将来の学びや実践に対する意欲を持つことができる。
8. 介護保険制度の基本的な仕組みと、それを支える介護サービス、さらに医療と介護の連携による地域包括ケアシステムを理解し、その重要性を説明できる。

III 教育内容

講義日程表（予定）

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R7.11.10	(月)	3	地域医療①(地域医療と総合診療)	紀北分院	廣西 昌也
2	R7.11.17	(月)	3	地域医療②(地域で患者を守る～ 介護保険と介護サービスの仕組み～)	地域医療支援 センター	川端 大輝
3	R7.12.5	(金)	1	地域医療③(多職種連携)	地域医療支援 センター	中村 有貴
4	R7.12.5	(金)	2	地域医療④(プライマリ・ケア)、筆記試験	地域医療支援 センター	蒸野 寿紀

IV 学習および教育方法

講義

V 評価の方法

講義に臨む姿勢と提出されたミニレポート（40%）、筆記試験（60%）を総合的に評価する。

VI 教科書・参考書等

1. 地域医療学入門 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会 監修 診断と治療社 2019

VII. オフィスアワー

地域医療支援センター 木曜日 終日・金曜日午後

【連絡方法】mushino★wakayama-med.ac.jp (担当：蒸野 寿紀)

【実施場所】東棟3階 地域医療支援センター

	1 基盤的資質				2 医師としての基本的資質				3 コミュニケーション能力				4 医学的知識										5 医学の実践										6 医学的(科学的)探究				7 社会貢献					
	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人としての一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達・成長・加齢・死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	EBMの利用	生物統計・疫学	行動科学・医療経済	法令・研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	プレゼンテーション技能	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動
卒業時コンピテンシ	C	E	F	E	C	E	E	F	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	F	F	F	F	D	D	D	D	C	F	F	F	C	D	F	F	F	F	C	F	F